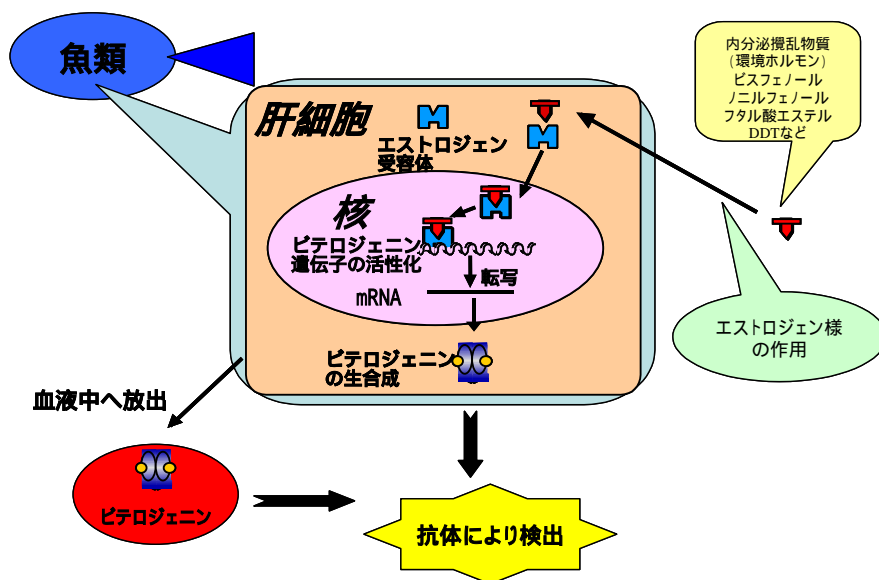


抗 コイピテロジェニン モノクローナル抗体 (Clone No. 1G2)

卵黄前駆蛋白物質であるピテロジェニン(Vg)は、卵生高等脊椎動物の血中に出現するメスに特異的な蛋白物質です。Vg はエストロジェン(女性ホルモン)の作用のもとに、通常、卵黄形成期のメス肝臓で合成され、血中を介して卵内に取り込まれ卵黄蛋白質を構成します。また、エストロジェン処理をすることにより、オス血中にも誘導される蛋白質であることから、近年、河川などの環境水中にある内分泌攪乱物質のバイオマーカーとして注目されています。



- 容量 100 μg (100 μl/バイアル)
 形状 マウスモノクローナル抗体 1.0mg/ml 凍結品
 バッファー 0.15M 塩化ナトリウム、10mM リン酸緩衝液(pH7.4)、1%BSA
 保管方法 -20 以下(解凍後は4℃、凍結・融解の繰り返しは避けて下さい)
 クローン番号 1G2
 サブクラス IgG1
 抗原 コイリポビテリン
 使用濃度 イムノプロットイング 1 μg/ml
 ELISA 0.1 ~ 1 μg/ml (ELISA 系による定量系は確立されておりません。)
 特異性 <交差反応性>

	コイ	メダカ	マミチョグ	マダイ
ELISA	(+)	(±)	(-)	(-)
イムノプロットイング	(+)	(-)	(-)	(-)

抗 コイビテロジェニン モノクローナル抗体 (Clone No. 1G2)

【各魚種のビテロジェニンに対する反応性】

ELISA

抗原:

マダイ、マミチヨグ、メダカの各ビテロジェニンは、17 β -エストラジオールを曝露したオスの血清より精製。コイについてはメス血清より精製。

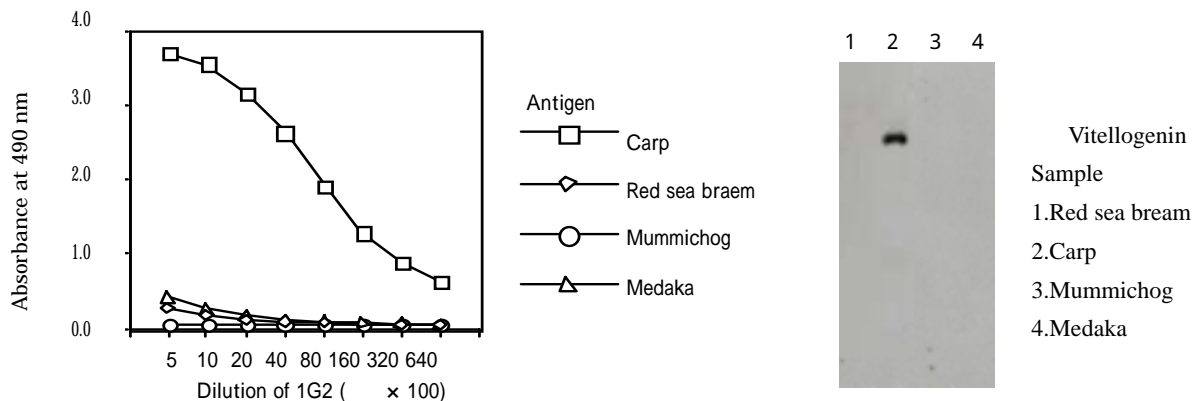
固相化抗原濃度 5 μ g/ml

イムノプロットティング

抗原:

コイは、1:40 に希釈したメスの血漿。

マダイ・マミチヨグ・メダカは、17 β -エストラジオールを曝露したオスの血漿。



【参考文献】

1. N.Hiramastu, M.Shimizu, H.Fukada, M.Kitamura, K.Ura, H.Fuda, and A.Hara, (1997) *Comp. Biochem Physiol.* 118C(2) 149-157
2. N.Hiramastu and A.Hara. (1996) *Comp Biochem Physiol.* 115A(3) 243-251
3. H.Okumura, A.Hara, F.Saeki, T.TODO, S.Adachi and K.Yamauchi,(1995) *Fisheries Science* , 61(2) 283-289
4. T.Matsubara, T.Wada and A.Hara, (1994) *Comp Biochem Physiol.* 109B(4) 545-555
5. Y.Tao, A,Hara, R.. G. Hodoson, L. C. Woods III and C. V. Sullivan, (1993) *Fish Physiol. Biochem*, 12(1) 31-46
6. A.Hara, C. V. Sullivan and W.W. Dickhoff,(1993) *Zool. Sci.*, 10(2), 245-256

製造元

株式会社トランスジェニック

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp